

第288回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 令和5年5月22日（月） 11：00～12：00

2 開催場所 宇都宮東武ホテルグランデ

3 委員の出席 委員総数 5人
出席委員数 5人

(1) 出席委員の氏名 小笠原 伸（委員長）
君島 理恵（副委員長）
青木 敬信
新井 啓泰
高橋 淳

(2) 放送事業者側出席者 鈴木 峰雄（代表取締役社長）
佐藤 望（放送部長）
渡辺 裕介（放送部）

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

2023年5月17日に放送した番組、「B-SIDE WAVE（水）」について、試聴と意見交換をおこなった。

事業者： 2021年4月からスタートした、朝の生活情報番組「B-SIDE WAVE」についてお聴きいただきます。タイトルに込めたコンセプトは「生活に寄り添うちょうどいいラジオプログラム」。最新の NEWS や生活情報と併せて、「栃木のいま」が分かる旬な情報を、市場、映画館、金融、レジャー施設など、曜日替わりでさまざまな角度から伝えている。水曜日は9時台で『ミュージアム最新情報』のコーナーを放送中。水曜日の放送は今年3月からフリーアナウンサーの野澤朋代がパーソナリティを担当しています。また、今年4月から県内の市と町の情報をリレー形式で紹介している10分コーナーの『GO!GO!とちぎ まちネタリレー』を編成し、新人アナウンサーが各地の地域情報を取り上げています。

【 番組の試聴 】

委員：冒頭から、とちぎ花センターのアジサイの話があり、行ってみたくなる描写が良かった。四季の移り変わりをしっかりと伝えられるパーソナリティは好感が持てる。

委員：野澤さんの声は明るく、朝番組のパーソナリティに適任だと思える。ハイテンションすぎるよう感じる部分もあったが、ニュースの時間は一転して落ち着いた声で、非常に聴き取りやすかった。

委員：『ミュージアム最新情報』のコーナーは、各施設のポスター やチラシを見ただけではわからない深い内容を紹介していて、良質な情報コーナーだと感じる。一方で、「プロレタリア美術」など、難しそうな言葉については適宜、補足説明があった方が良いのではないか。

委員：電話インタビューが複数回あったが、野澤さんのスキルが高かったこともあり、『まちネタリレー』では新人アナウンサーの山本さんの受け答えで、盛り上がりが足りなく感じた。事前録音のコーナーとのことなので、現地での取材にも挑戦して、トークの技術を高めてほしい。

委員：生放送で、電話インタビューを繋いでから「主催者名」の違いについて出演者側から指摘されていたが、事前の打合せの時点で間違いが無いよう、番組スタッフも注意を払ってほしい。

（以上）

（2）その他

- ・事務局より、今年9月に開催予定の『ベリテンライブ 2023 Special』について、5月19日に情報解禁となった出演者第2弾発表等の内容を報告。
- ・事務局より、番組審議委員の新規加入（1名）についての提案と意見の収集。

（3）次回開催日程について

次回の開催を6月12日（月）とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日 なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

- （1）放送 5月28日（日）午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内
- （2）書面 本社事務所に備え置き
- （3）インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項 なし